

お客様各位

日興アセットマネジメント株式会社

「高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)／愛称:インカムグロース」

2018年2月決算と今後の市場見通しについて

平素は弊社投資信託に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)／愛称:インカムグロース」は、2018年2月20日に決算を行ないました。

今回の決算において当ファンドは、市況動向や、基準価額に対する分配金額の水準などの状況を総合的に勘案し、分配金額を減らすことで運用を行なう資産を増やし、将来の運用成果を高めることをめざして、分配金額を引き下げることと致しました。

次ページ以降では、市況動向や今後の見通しなどについてご説明しておりますので、ご一読ください。

今後とも、「インカムグロース」をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

分配金と基準価額について

今回(2018年2月)の分配金 (税引前、1万口当たり)	30円
前回(2018年1月)の分配金 (税引前、1万口当たり)	60円
2018年2月20日現在の基準価額 (税引前分配金控除後、1万口当たり)	3,548円

※ 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。ただし、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や、分配を行なわない場合があります。

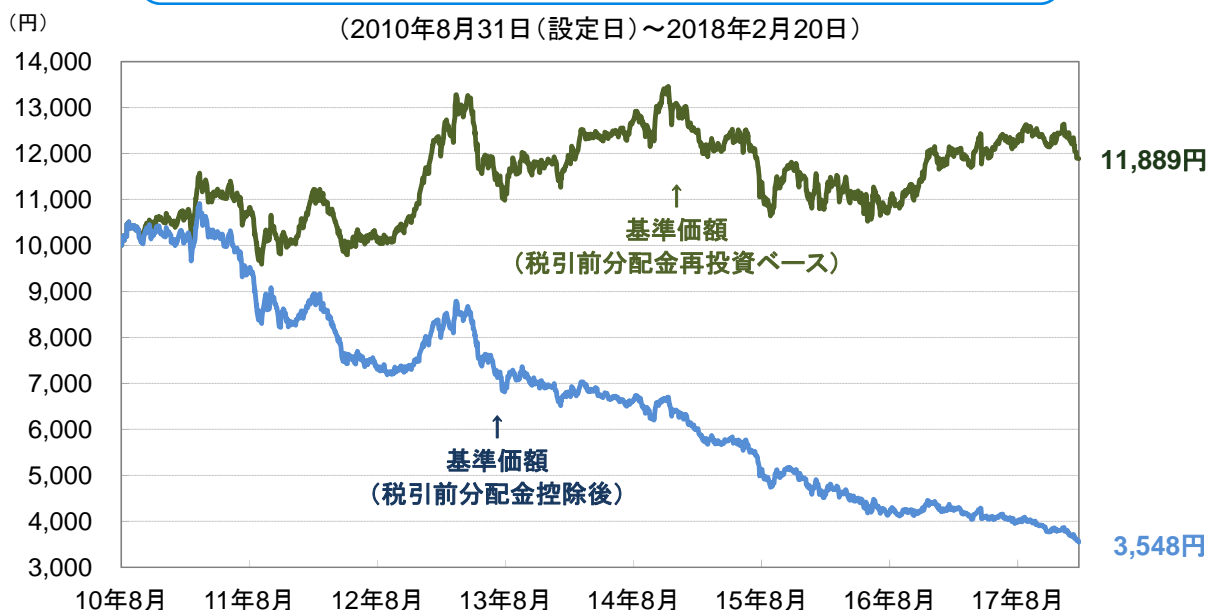
※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

分配金の引き下げについて

基準価額に対する分配金額の水準が高まっていることや、分配金額を減らすことで期待される運用資産増加の効果などを総合的に勘案し、今後も安定的な分配金のお支払いを継続することをめざすために、今回の決算において分配金額を引き下げることと致しました。

基準価額の推移



分配金の推移(税引前)

2010年10月～ 2011年3月	2011年4月～ 2012年6月	2012年7月～ 2014年12月	2015年1月～ 2018年1月	2018年2月	直近1年間 累計	設定来 累計
100円/月	140円/月	100円/月	60円/月	30円	690円	7,950円

- ※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
- ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
- ※ 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定的な分配を継続的に行なうことをめざします。ただし、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や、分配を行わない場合があります。

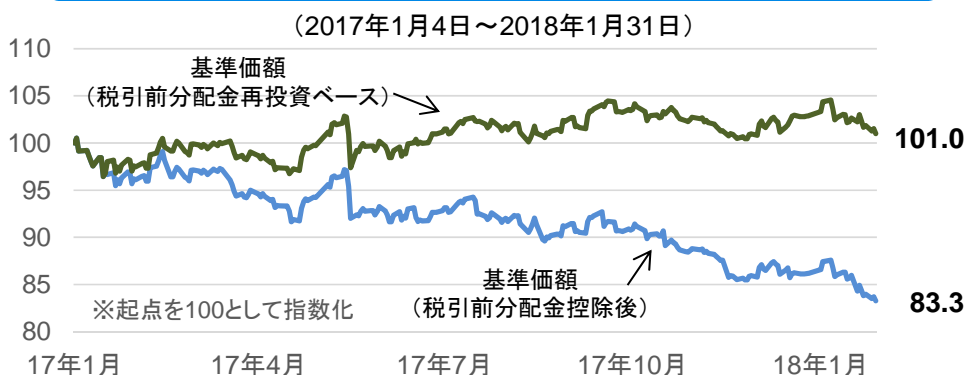
※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資家の皆様に「高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)／愛称:インカムグロース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

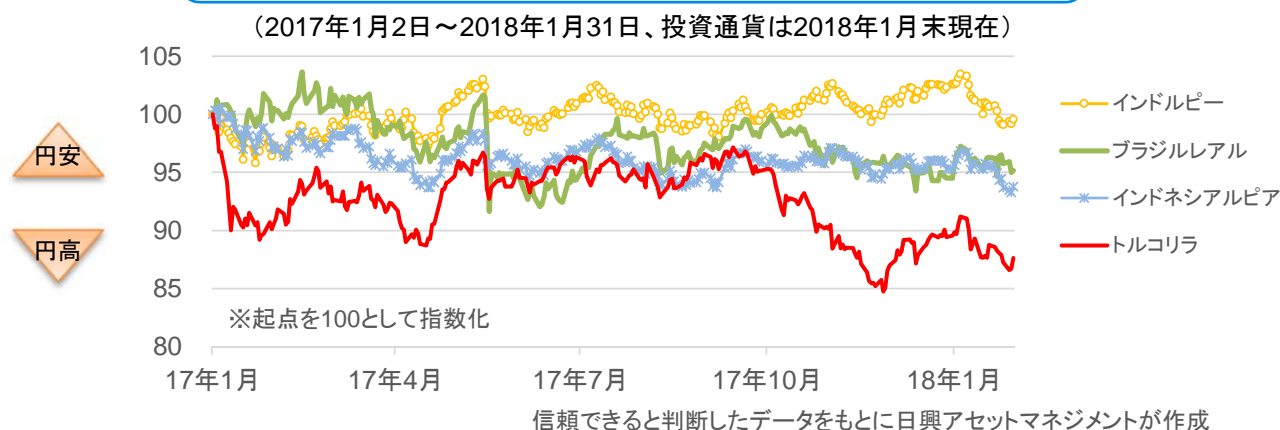
2017年以降の運用状況について

- 当ファンドは、国際経済・金融システム上、重要とみられる国や地域*の通貨を投資対象とします。その中から、金利水準および通貨価値の成長性などを勘案して投資通貨を厳選し、当該通貨国の最上級の格付を有する短期のソブリン債券に投資を行ないます。 *2018年1月末現在、投資対象国はG20の構成国・地域としています。
- 2017年以降、当ファンドはインドネシアルピア、インドルピー、ブラジルリアル、トルコリラの4通貨への投資を継続しました。これら通貨の金利水準は相対的に高いことから、ポートフォリオの利回りは比較的高い水準を維持しました。また、当ファンドは、原則として短期の債券に投資を行なうため、足元の世界的な金利上昇によるマイナスの影響は比較的小さなものとなりました。
- 為替市場では、トルコリラやブラジルリアルが地政学リスク、政治リスクの高まりなどを受けて大きく下落する場面がみられました。そうした中、当ファンドのパフォーマンス(税引前分配金再投資ベース)は、相対的に高い金利収入などにより、底堅く推移しました。

基準価額の推移



投資通貨(対円レート)の推移



※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、それぞれ1万口当たりの値です。

※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

本資料は、当ファンドの主要対象である「インカム&グロース・カレンシーファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパ リミテッドからのコメントをもとに作成しています。本資料は、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方角あるいは考え方を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資家の皆様に「高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)／愛称:インカムグロース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

投資通貨の見通しについて①

インドネシアルピア

堅調なファンダメンタルズを背景に通貨の投資魅力高まる

- 財政の緊縮化や輸出の減速などを背景に、2017年末にかけて経済指標にやや減速傾向がみられたものの、依然として同国のファンダメンタルズは堅調であり、2017年の実質GDP成長率は5.07%と前年より小幅ながら加速しました。加えて2018年は投資の増加が見込まれることから、更なる成長の加速が期待されます。
- 中央銀行は2017年に2回の利下げを実施した後、政策金利の据え置きを続けています。同国のインフレ率は目標レンジ内に留まっていることから、当面は現在の金融政策が維持されるとみています。
- 大手格付会社のフィッチ・レーティングスは、外貨準備の増加などから外的ショックへの耐性が高まってきたと評価し、2017年12月に、自国通貨建ておよび外貨建て長期債の信用格付を、従来のBBB-からBBBに引き上げました。このようにインドネシアルピアの信認は向上しつつあり、投資妙味は高いと考えられます。

インドルピー

深化する構造改革を評価し、大手格付会社が格上げを実施

- 2017年7月の物品サービス税(GST)導入以降、同国経済には一時的な停滞がみられたものの、足元で鉱工業生産などの一部の経済指標に回復の兆しがみられます。GSTの導入は、物流効率の向上や税収の安定など、経済に長期的にプラスの影響をもたらすと期待されます。
- 同国政府は、2017年10月に大型の経済政策を発表しました。国営銀行の不良債権処理に向けた大規模な資本注入計画や、高速道路建設をはじめとするインフラ投資計画など、その規模は市場の想定を大きく上回るものであり、今後の景気押し上げ効果が期待されます。
- 政府が進める構造改革などが評価され、2017年11月には大手格付会社ムーディーズが同国の自国通貨建ておよび外貨建て長期債の信用格付を従来のBaa3から1段階引き上げ、Baa2としました。こうした状況などを受け、インドルピーの底堅い推移が見込まれます。

本資料は、当ファンドの主要対象である「インカム&グロース・カレンシーファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパ リミテッドからのコメントをもとに作成しています。本資料は、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の見方あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

■当資料は、投資家の皆様に「高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)／愛称:インカムグロース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

投資通貨の見通しについて②



ブラジルリアル

経済は回復傾向だが、政治動向には引き続き注意が必要

- 2017年5月には、テメル大統領の政治スキャンダルが浮上したことから、ブラジルリアルは急落しました。しかし、その後の労働市場改革法案成立や実質GDPのプラス成長転換などが好感され、足元では底堅く推移しています。
- 同国経済は回復傾向にあります。貿易収支は引き続き堅調に推移し、海外からの資金流入も高水準を維持しています。また、世界景気の加速見通しなどを背景に商品市況の堅調が期待されることは、同国経済の下支えになるとみられます。
- 収賄と資金洗浄の罪に問われているルラ元大統領が、2018年1月に行なわれた第二審で有罪判決を受けたことで、10月の選挙で大統領に返り咲く可能性が低下しました。同氏はテメル現大統領による構造改革、緊縮財政路線を否定していることから、こうした動きは市場に好感され、リアルの上昇につながりました。同国では、今後も大統領選挙を含む政治的な動きがリスク要因になるとみられることから、引き続き動向を注視していきます。



トルコリラ

引き続き地政学リスクを注視しつつ、同国の景気回復に期待

- 2017年後半は、中東における地政学リスクの高まりや、米国との関係悪化などから、トルコリラは変動性の高い相場展開となりました。12月中旬以降は、政策金利の引き上げやインフレ率の低下が契機となって上昇基調に転じたものの、引き続き同国を取り巻く地政学リスクには注意が必要と考えています。
- 足元のいくつかの経済指標には、製造業や建設業、サービス業を中心に、景気底打ちの兆候がみられます。こうした回復傾向が将来にわたって持続するかどうかの判断は難しく、また経常赤字拡大の可能性も指摘されているものの、欧州への輸出拡大やトルコへの旅行者数の増加などが、いくらかの緩衝材になるとみえています。

本資料は、当ファンドの主要対象である「インカム&グロース・カレンシーファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパ リミテッドからのコメントをもとに作成しています。本資料は、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の見方あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

■当資料は、投資家の皆様に「高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)／愛称:インカムグロース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

今後の市場見通しについて

2018年も順調な成長が期待される

- IMF(国際通貨基金)の見通しによると、2018年も世界経済は堅調を維持する見込みですが、特に**新興国は、前年を上回る成長となる見込み**です。また、先進国との成長率の差が広がることで、海外からの直接投資や証券投資の増加につながるとみられ、投資家のリスク回避姿勢が高まった際の防波堤の役割を果たすと期待されます。

リスク要因としては、米利上げペースの加速が挙げられる

- 米国の利上げは緩やかに進むとみられるものの、景気の加速によってペースが速まるような場合、新興国からの資金流出につながる可能性があります。しかし、現在多くの新興国で**ファンダメンタルズの改善を背景に通貨の脆弱性は低下**しており、2013年5月に米量的緩和の縮小が示唆された時のような市場の混乱が起こる可能性は低いと考えます。

新興国市場には、引き続き強気の姿勢を維持

- こうしたことから、我々は引き続き**新興国市場を強気**にみています。各国の政治や経済動向を注視しつつ、今後も慎重に運用を進めてまいります。

本資料は、当ファンドの主要対象である「インカム&グロース・カレンシーファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパ リミテッドからのコメントをもとに作成しています。本資料は、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の見方あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

ポートフォリオの概要 (2018年1月末現在)

- 当ファンドが主要投資対象とする「インカム&グロース・カレンシーファンド クラスA」のポートフォリオの概況は以下の通りです。

※ 比率は当外国投資信託の純資産総額比です。各比率はその他および四捨五入の関係で合計が100%とならないことがあります。

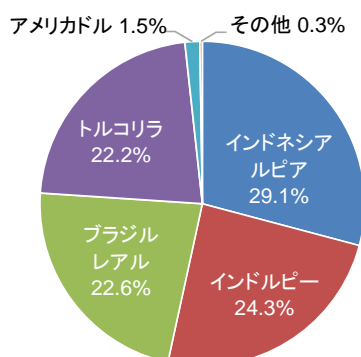
【ポートフォリオの特性値】

最終利回り	8.00%
デュレーション	0.78年

※ 最終利回りは、個別債券および短期金融資産について加重平均したものです。

※ 最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。将来得られる期待利回りを示すものではありません。

【通貨別投資比率】



※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資家の皆様に「高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)／愛称:インカムグロース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

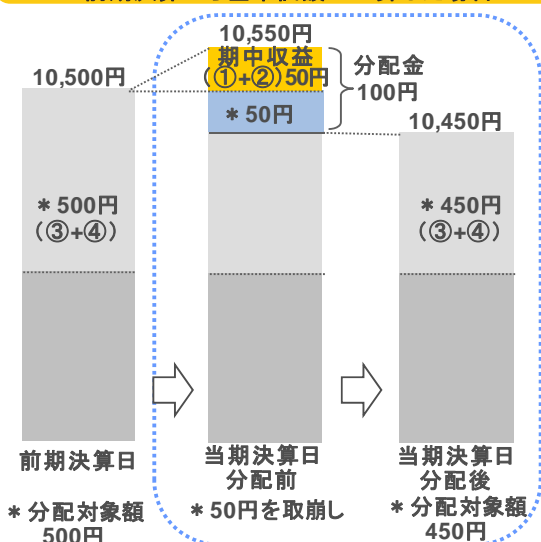
投資信託で分配金が支払われるイメージ



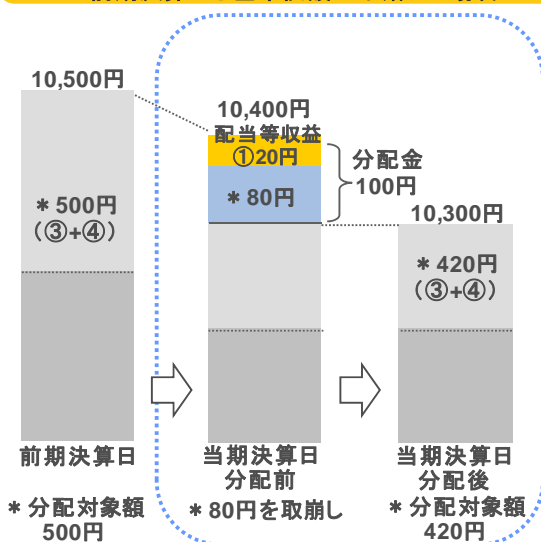
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合

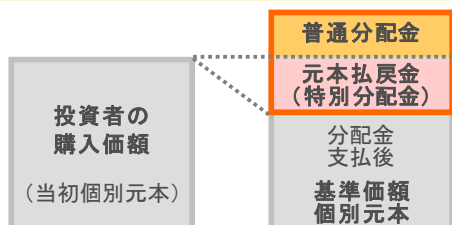


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

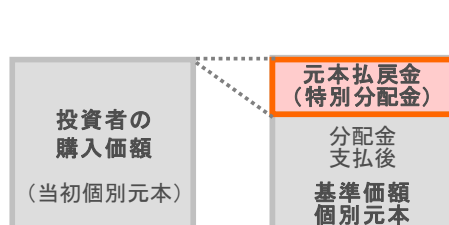
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

【お申込みに際しての留意事項】

リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様に「高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)／愛称: インカムグロース」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

【お申込メモ】

商品分類	追加型投信／内外／債券
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2020年7月21日まで(2010年8月31日設定)
決算日	毎月20日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

【手数料等の概要】

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時手数料率は、 <u>3.24%(税抜3.0%)</u> を上限として販売会社が定める率とします。 ※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	純資産総額に対して <u>年率1.2172%(税抜1.15%)</u> 程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率0.9072%(税抜0.84%)、投資対象とする「インカム&グロス・カレンシーファンド クラスA」の組入れに係る信託報酬率が年率0.31%程度となります。 受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
その他費用	目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※ 組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■当資料は、投資家の皆様に「高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)／愛称:インカムグロス」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

【委託会社、その他関係法人】

委託会社

日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会

受託会社

三井住友信託銀行株式会社

販売会社

販売会社については下記にお問い合わせください。
 日興アセットマネジメント株式会社
 [ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>
 [コールセンター] 0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社京都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社新生銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)